

2020年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：組織行動論特論	
担当教員名：藤沼 司	
<p>授業科目概要：</p> <p>20世紀以降の現代社会を「組織の時代」あるいは「組織（中心）社会」と呼ぶことがある。それは、様々な組織体の活動によって、われわれの生活が構築され、支えられているという時代認識に由来する。組織とわれわれ諸個人との同時的発展をいかにして果たしていくかという問いは、経営学の初期の段階から自覚された問いであり、また現代社会を生きるわれわれの生活を理解し、よりよく生きるために必須の問いでもある。</p> <p>本授業では、組織と個人との関連や組織における人間行動を検討することで、現代社会を支える組織行動について考えていきたい。その手がかりとして、経営学の先達がこうした問題に対しどのように応答してきたのかを検討することから始める。</p>	
<p>履修上の留意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への積極的な参加を期待する。 ・授業ではM.P.フォレットやC.I.バーナード、P.セルズニックといった経営学の原典にあたる。適宜、原典や論文の必要箇所を配布する。 	
教科書・参考書（参考文献）	
<p>書名 : <i>Dynamic Administration</i> 著者／編者 : Mary Parker Follett 出版社 : PICKERING & CHATTO 出版年 : 1941,2005</p>	<p>書名 : <i>The Functions of the Executive</i> 著者／編者 : Chester I. Barnard 出版社 : Harvard University Press 出版年 : 1938,1968</p>
<p>書名 : <i>Leadership in Administration</i> 著者／編者 : Philip Selznick 出版社 : Harper & Row, Inc. 出版年 : 1957</p>	<p>書名 : 著者／編者 : 出版社 : 出版年 :</p>
<p>書名 : 著者／編者 : 出版社 : 出版年 :</p>	<p>書名 : 著者／編者 : 出版社 : 出版年 :</p>
<p>評価方法及び判定基準：</p> <p>受講時の態度（積極性の有無）や発言内容（質問、意見等）、レポート等によって総合的に評価する。</p>	
<p>授業目標及び進め方：</p> <p>目 標：概要のとおり 進め方：授業の前半（第1回～第6回）は、組織と個人との関わりを理解するための基本枠組みの設定を目指し、講義形式をとる。授業の後半（第7回～第15回）は、輪読形式をとり、毎回の報告者を決め、その報告を元にディスカッション中心とする予定である。ただし、受講生と相談の上、多少の変更あり。</p>	

<p>第1回 ～ 第2回</p>	<p>テーマ：「組織の時代」における組織と個人との関係を問う意味 内 容：メアリー・P・フォレットの経営思想を手がかりに 教科書／参考書 Follett, Mary P. [1941,2005] <i>Dynamic Administration : the Collected Papers of Mary Parker Follett</i>, in <i>ORGANIZATION THEORY vol.5 (INTELLECTUAL LEGACY OF MANAGEMENT</i>, Co-edited by Wren, Daniel A. and Sasaki, Tsuneo, PICKERING & CHATTO) Follett, Mary P. [1995] <i>Mary Parker Follett - Prophet of Management : a celebration of writings from the 1920s</i>, edited by Graham, Pauline, Harvard Business School Press.</p>
<p>第3回 ～ 第6回</p>	<p>テーマ：組織とは何か—組織の成立・存続・発展— 内 容：チェスター・I・バーナードの理論を手がかりに 教科書／参考書 Barnard, Chester I. [1938,1968] <i>The Functions of the Executive</i>, Harvard University Press. Selznick, Philip [1957] <i>Leadership in Administration : A Sociological Interpretation</i>, Harper & Row, Inc. 飯野春樹 [1978] 『バーナード研究—その組織と管理の理論—』文真堂。 飯野春樹 [1992] 『バーナード組織論研究』文真堂。 村田晴夫 [1984] 『管理の哲学—全体と個・その方法と意味—』文真堂。</p>
<p>第7回 ～ 第15回</p>	<p>テーマ：組織における人間行動 内 容：モチベーション、コミュニケーション、意思決定、リーダーシップ 教科書／参考書：受講生と相談 Barnard, Chester I. [1938,1968] <i>The Functions of the Executive</i>, Harvard University Press. その他、受講生と相談の上、受講生の興味あるテーマに沿って検討する。</p>